

「2050ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム」 来場者アンケート【関心傾向・キーワード】

来場者アンケートの自由記述欄の記載内容より、来場者の関心傾向や今後に向けてのキーワードを抽出し、カテゴリー化しました。

イベントの継続性

8件

- ▷ 今後も継続してもらいたい。
- ▷ 概念ではなく具体策をより深く議論する方向が必要と思います。
- ▷ 継続していくことが大事だと思う。
- ▷ こういう機会を増やしていくことが大事だと感じました。
- ▷ イベントを多く催す。
- ▷ 実行力。ゼロカーボンシティ推進室に多額の予算をつける。ゼロカーボンシティ推進室を中心に勉強会を定期的に行う。
- ▷ 会議やシンポジウムでは前に進まないのフィールドワークイベントを進めやすい環境づくり。
- ▷ 今日を皮切りにゼロカーボンシティに向かって全員が団結して取り組んでいければと思います。

脱炭素農業

8件

- ▷ 脱炭素農業
- ▷ 農村部の事例ももう少し欲しかった。
- ▷ 農業が環境保全の鍵となるという意見があったが、後継者不足でなくなってしまう農地（梨園など）も目にしてきた。農業の後継者問題にも言及してほしい。
- ▷ 北部の少子高齢化やばいです。
- ▷ 営農シェアリング
- ▷ 北部の豊かな森林・農地の活用。
- ▷ 北側に農地はあっても変電所までが遠く、連系負担金が大。八千代市が作るSPCに民間のTK出資を募り、八千代市も出資者となり部分的には税負担を含め事業化を図り、荒廃農地の再生、そこで働きたいと思う若い人の募集、住宅提供等の施策を望みます。高圧の蓄電所事業は、1000㎡弱の土地で変電所の近くの土地であれば負担金も安く、経産省補助金活用して事業化ができると思います。営農指導含め、体制作りはそんなに難しくないと思います。
- ▷ 高齢化による荒廃農地の再生（ソーラーシェアリング）を行い、食料問題もクリアしてほしい。

里山保全・緑の保全

7件

- ▷ TOAシブルさんの事業内容の中で「里山保全」があり、地域も自分がやっている保全活動の場所、保品地区と近く、何か一緒に出来たら良いなと思いました。
- ▷ TOAシブル→環境活動を通じて社員の自己肯定が強くなったのは素晴らしい。
- ▷ 八千代市北部の荒廃した竹林を活用してほしい。竹を竹炭にすれば新たな資源になります。ぜひお願いします。
- ▷ 街路樹の伐採がひどい。落ち葉の問題もあるかもしれないが、マッチ棒のように切りすぎている。公園の木も切りすぎてしまいさびしい感じがする。緑を増やしてほしい。
- ▷ 北部の豊かな森林・農地の活用。

- ▷ 市内の憩いの場となっていた自然環境がどんどんなくなり開発されて悲しく寂しい気持ちがします。不動産開発も重要な経済発展の一部なのは理解していますが、空き地や空き家をもっと活用するようにし、自然環境を保全するように努めるべきであり、環境問題解決の手立ての一つとなるかと思います。
- ▷ 全体として脱炭素の話が中心だったような印象でした。緑を増やす目的の造酸素の活動、話し、取組方針等も詳細が判ると、家庭に導入できるような気がしました。地域の活動を支援するための市、県、国としての取組みも紹介していただけると良かった。

市への批判

6件

- ▷ 方針はよいが進捗度が不明。
- ▷ 市の政策がうわべだけに感じた。現実味が感じられない。危機感が感じられない。
- ▷ 馬上代表の八千代市の強み・弱みの言葉で、政策面が不十分（時間の制限のある中）。実際にうわべだけの政策に感じた。市は危機感が全くないと感じた。
- ▷ 市の本気度が感じられなかったのは残念。
- ▷ もっとスピード感が大切だと思います。
- ▷ 市の本気度が感じられないのは残念。取組速度が遅すぎます。2030年に県内でも気候危機により浸水するデータ予測もある中、今すぐ抜本的取組が必要です。

家庭部門への働きかけ

5件

- ▷ 今日の話題は一般市民がやるべきことについての言及が少なかった。八千代市の計画では、一般家庭からのCO2削減に頼っているので、一般市民向けの働きかけをもっとすべきである。
- ▷ 市民は知らないだけだと思うので、もっと広めて欲しいです。
- ▷ 市民への周知
- ▷ 住民への周知
- ▷ 公共団体や市、教育機関が環境への取組みをもっと周知するべき。

職場での教育

4件

- ▷ 子どもよりも大人への教育、職場での環境教育を充実してほしい。
- ▷ 企業の従業員への指導、学校での教育に力を入れて、自分たちの生活（スタイル）を大きく変える位の事をしないと実現は難しいと感じた。
- ▷ 企業から従業員への指導
- ▷ 公共団体や市、教育機関が環境への取組みをもっと周知するべき。

太陽光発電・PPA

4件

- ▷ 市の施設に太陽光発電をつける。
- ▷ 学校の屋根、公共施設の屋根活用は技術の進展でPPAが可能です。札幌や浜松での取組みにならない民活を行う為の入札等を実施ください。
- ▷ PPA
- ▷ 太陽光パネルや生ゴミ処理機の購入補助金を増やしそれを市民に周知するべき。

太陽光発電への偏重

3件

- ▷ 太陽光ありきの取組み。
- ▷ 太陽光発電ばかりでしたね。残念。
- ▷ 全体として脱炭素の話が中心だったような印象でした。発電の話は、もう古い話が多かった。

学校での教育

3件

- ▷ 企業の従業員への指導，学校での教育に力を入れて，自分たちの生活（スタイル）を大きく変える位の事をしないと実現は難しいと感じた。
- ▷ 学校への教育
- ▷ 公共団体や市，教育機関が環境への取組みをもっと周知するべき。

公共施設ZEB化

3件

- ▷ 2050年CO2排出ゼロ宣言をしているなら市庁舎完全ZEB化は当たり前です。
- ▷ 市庁舎は完全ZEB化で。
- ▷ ZEB

エネルギーフロー

2件

- ▷ 東北大・中田研究室の八千代市のエネルギーフロー。家庭部門は全て再エネで賄えるというのが印象に残りました。
- ▷ エネルギーフローが分かりやすかったので検索したい。

市民会議

2件

- ▷ 松戸市市民会議の開催。
- ▷ もっといろいろな方が参加できると良いと思う。

ごみ処理発電・熱利用

2件

- ▷ 松戸市クリーンセンター発電
- ▷ 焼却時の熱は排管作り熱供給利用

バイオマス・バイオガス発電

2件

- ▷ 太陽光発電以外の取組みとして，バイオマスの取組みが可能。酪農ふん尿。資源循環。
- ▷ ごみ焼却は家畜ふん尿，食品残渣と合わせバイオガス発電。

森林環境譲与税

1件

- ▷ 松戸市，森林環境譲与税による協定。

地域新電力

1件

- ▷ 再生エネルギー→新電力→市民の活用。

補助金

1件

- ▷ 太陽光パネルや生ゴミ処理機の購入補助金を増やし，それを市民に周知するべき。

ゴミ袋収益の有効活用

1件

- ▷ 全国的にも値段が高いと思われるゴミ袋の収益をもっと環境課題に投資するべき。

女性の意見

1件

- ▷ パネリストの中で女性は一人だけ。男性目線の議論になりがちではとつい思ってしまった。男性優位は日本社会全体の課題だが，女性の意見をもっと多くすくい上げなければ，社会問題の一つである環境問題も解決が難しいと思う。